平成27年度　ＦＤ活動報告　　経済学研究科

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・　経済学研究科委員会が主体となるとともに、各専攻においてもその独自性を活かす形でのＦＤ活動を実施している。
・　経済学研究科委員会では、ピア授業参観の導入ならびに運営、カリキュラムの改善、ＦＤ講演会の企画などを行っている。
・　さらに各専攻レベルでは、専攻会議あるいは論文演習の際に担当教員が集まって、各専攻のカリキュラム・修論指導のあり方等を検討する取り組みを行っている。

２　ピア授業参観実施状況

期間	被参観授業数	参観者数	特記事項
前期	－	－	経済学研究科では27年度後期から、新たになかもず、サテライト教室共にピア授業参観を導入した。
後期	2	7	
年度合計	2	7	

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル等）	種別	参加者数
10月8日	「研究倫理を考える」 講師：西川マリ氏（エディティージ）	講演会	16

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
経済学研究科委員会	研究科全体のFD活動を企画、実施	11	11
経済学専攻カリキュラム改善等WG	経済学専攻のFD活動を企画、実施	3	5

５　その他取り組みの具体的実施状況

・　今年度は例年行ってきた授業アンケートの代わりに、サテライト生に対し、研究環境等も含むより包括的なアンケートを実施した。回答数は22件（回収率38%）であった。これにより、今後の授業改善を含む、サテライト教室の運営全般の方向性を考える上での有益な情報を得ることができた。

平成 27 年度ＦＤ活動実施報告　経済学研究科

１．大阪府立大学大学院ＦＤセミナーへの積極的参加

２．研究科内におけるＦＤ

- 経済学研究科の成績評価基準を作成し、教授会で決定した。
- 博士前期課程（分野別)、後期課程ともに履修ガイドラインを作成した。これは新入生オリエンテーションの際の説明資料とする。

３．ピア授業参観を後期から導入し、18 の授業が公開され、参加者７名であった。

４．授業評価アンケートについては、今年度は総合企画課が 9 月に実施したサテライト生対象の包括的アンケートのなかで、院生の回答を分析し、今後の授業改善に役立てることにした。

５．修士論文のあり方については、論文の審査基準を分野ごとに検討し、教授会で決定した。また、修士論文の中間発表のあり方、修士論文のテーマ決定に至る院生の指導のプロセスなどについて、専攻で検討を続けている。

６．ＦＤ講演会の開催。

10 月８日　「研究倫理を考える」　於 3B106　　講師：西川マリ氏（エディティージ）

教員参加者 16 名

７．カリキュラムの再検討

コース制を廃止し、より柔軟な科目選択ができるカリキュラムを構築した。

コースワークと修士論文作成のバランスを専攻ごとに検討した。たとえば経済学専攻においては、コースワーク中心のカリキュラムへの移行を進めるため、計量経済学関連科目の拡充強化を図り、院生が修士論文を書くために必要な方法論の学習に重点を置く新たなカリキュラムを検討した。

８．次年度カリキュラムに沿った FD 活動の検討

3 月 10 日の研究科委員会で検討する。

平成 28 年度ＦＤ活動実施計画　経済学研究科

１．大阪府立大学大学院ＦＤセミナーへの積極的参加
２．研究科内外のＦＤ事例の共有
３．ピア授業参観の積極的推進
４．授業評価アンケートへの積極的参加の学生に対する呼びかけ、並びに各教員によるアンケートの分析とコメント
５．分野別の履修マップに基づく学修状況の確認、履修マップ更新の必要性の検討
６．シラバスに記載した授業目標の達成度に基づく成績評価の結果確認と授業目標更新の必要性の検討